※令和４年度以降入学生用

学校番号	４０２

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術１	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	美術１　（光村出版）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

■感じ取ったことから考える「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」、美術作品などのよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、理解を深める「鑑賞」の分野について学習します。

■一人ひとり、思いや見方、感じ方が違います。表現形式の特性や形体・色彩などについて着目して、自分なりの感じ方や見方、表現を深めていきましょう。違った見方を「鑑賞」で共有すると、また更に広がったり深まったりします。

２　学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を以下の通り育成することを目指す。

①　対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

②　造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

③　主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	・造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	・主体的に美術の幅広い創造活動にとりくもうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	美術ってなんだろう	【鑑賞】 ・オリエンテーション 教科書等を鑑賞し、多様な表現形式について学び、「美術Ⅰ」の学習イメージを持つ。	a:対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 b:作者の心情や表現の意図と創造的な表現について考え見方や感じ方を深めている。 c:美術の創造活動の喜びを味わい主体的に作者の表現の意図と創造的な工夫について考えるなど、見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート	ワークシート	授業観察
	模写	【素描】 ・白黒写真を模写する。明暗の諧調をしっかり作れるようにし、豊かな表現に結び付けてゆく。	a:描画材料（鉛筆）の特性を生かせるように理解を深めるとともに、対象を深く観察したことを基に表現を工夫して的確に描写している。 b:深い観察を通して、対象のイメージ（フォルム）や空間を把握し、見方や感じ方を深めている。 c:学習を通して主体的に対象を見つめ考察を深めたり、タッチのバリエーションなどを研究し取り入れたりするなど、造形表現を追求している。	作品	作品	授業観察 作品
	色彩構成	【デザイン】 混色練習シート 色彩(平面)構成作品制作 【鑑賞】 生徒間で作品を鑑賞し、ワークシートに感想や意見を述べる。	a:目的や条件、伝えたいイメージ、美しさなどから発想を深め、創造的な表現の構想を練っている。 b:構成の美しさなどを考えて調和のとれた配色をしたり材料を活用して表現効果を高めたりすることや、対象の見方や感じ方を深めたりしようとしている。 c:主体的に自らの表現の可能性を追求しようとするなど、造形感覚を高めようとしている。	ワークシート 作品	ワークシート 作品	授業観察
後期	点描	【絵画】 主題を生成し水彩による下描きでイメージを捉えたのち、油絵具で仕上げる。	a:絵画表現形式の特性について理解を深めるとともに、発想や構想をしたことなどを基に、様々な表現方法や材料や用具などを工夫して独創的・創造的に表している。 B 絵画表現における知識や技能などを活用し、創造的に発想し構想を練ったり、作品などに対する見方や感じ方を深めたりしている。 c:学習を通して、主体的に表現したり鑑賞したりし、絵画表現の可能性を追求しようとしている	アイデアスケッチ 作品	アイデアスケッチ 作品	アイデアスケッチ 授業観察
	パターンデザイン	【デザイン】 正方形に図案を描き、5:7の長方形になるように並べる。この時、並べる向きをいろいろに変えてユニークテキスタイル的デザインを考案する。	a:形体の性質と空間に果たす機能等について理解を深め、分配や配置などの工夫により、変化と統一のある美しい構成をしている。 b:構成の美しさなどを考えて調和のとれた配色をしたり、対象の見方や感じ方を深めたりしている。 c:学習を通して、主体的に自らの表現の可能性を追求するなど、造形感覚をたかめようとしている。	アイデアスケッチ 作品	アイデアスケッチ 作品	アイデアスケッチ 授業観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度